

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



日本医療機能評価機構



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 39



看護部長
山口 典子

東日本大震災後4カ月が経ちました。死亡者が1万5千人余、行方不明者は5千人余との報道に、改めて想像を絶する規模の災害に驚きと悲しみで心が痛みます。又、原発の問題は、見えない放射能被害に、国民は不安の毎日が続いております。犠牲になられた皆様、被災された皆様に心から哀悼の意を表しお見舞いを申し上げます。そして、救援・救助活動をされた方々に敬意を表し感謝を申し上げます。

頼りにすべき国の政局には、不安と、もどかしさを感じています。

貞明皇后の御歌

四方の国 睦みはかりて 救わなむ

幸なき人の 幸を得つべく 幸を得つべくを思い起こし、復興へは長い道程が予測されますが、国民相互の力で乗り切り、早期の収束に向かつていかねばならないと見守っています。

今、人が求めていることをすることは、被災地においても、病院においても共通する大事な事だと思えます。人は人によって支えられ、助けられ、強くなり前へ進むことができます。あらためて「当院の理念」を噛みしめています。



ちゅうまん けんた
中馬健太 医師

4月より福岡大学筑紫病院より勤めさせていただいています中馬健太（チュウマンケンタ）です。出身は鹿児島県で時折こういった苗字がある地域ですが、大学入学以降は福岡で早くも10年目になりました。福岡大学筑紫病院で2年間の研修を経て、福岡大学筑紫病院消化器内科に入局しました。

さくら病院は、大学病院とは違い患者さんも多種多様な訴えがあり、合併疾患も多様性に富んでいます。消化器内科医としても、一般内科医としてもまだまだ学ぶことが多く、諸先輩方のご指導のもと日々勉強しながら診療を行っております。

□ 入院患者さんの入れ替わりも多く、短期の入院の方も少なくないですが、信頼関係をしっかりと築き、その上で納得のいく診療ができるように心がけています。また、コメディカルスタッフとの連携がとりやすく助言なども頂いており大変感謝しています。ここでしかできない経験を大切に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

新任ごあいさつ



あまの かくや
天野角哉 医師

4月よりさくら病院にやってきました、天野角哉（アマノカクヤ）と申します。平成2年に九州大学第二内科（現、病態機能内科学）に入局し、胃腸科を専門としています。松山赤十字病院や川崎医科大学（岡山県倉敷市）などで勤務し、7年間福岡赤十字病院で勤務したのち、当院へ赴任いたしました。

ずっと胃腸科専門でやってきましたので、消化管の造影検査と内視鏡検査を行い、その診断、治療に追われる日々でしたが、当院では専門外の脳卒中や肺炎などの全身疾患に研修医の頃を思い出し悪戦苦闘しながら、勉強、経験させていただいています。

□ 当院はご高齢の患者さんが多いため、嚥下障害を伴い胃瘻の適応となる方も比較的多くみられます。患者さんの御家族の強い希望があり、全身状態が改善するようであれば、積極的に胃瘻造設を行いたいと思います。

□ また、消化管の造影検査や内視鏡検査の検査件数を増やすために、さくら病院での消化管検査は非常に楽で診断が確実と評判になるように、日々精進したいと存じます。

こちひら たかね
東風平高根さん コンサート



平成23年6月7日(火)14時にさくら病院食堂会議室でミニコンサートがありました。

さくら病院の患者様である村岡喜美子さんのご紹介で今回ボランティアに来ていただいた東風平高根(こちひら)たかねさんは沖縄県首里出身でソロ活動しているミュージシャンです。沖縄三線を弾き全国のライブ会場でコンサート活動をされています。通所リハビリ、さくらユニット、3内科の患者様、家族、病院スタッフなど多数の参加がありました。

私たちが良く知っている「花」を皆で合唱したり、「涙そうそう」など全7曲を歌っていただきました。福岡にちなんだ曲として私たちが良く知っている炭坑節」を三線を弾きながら歌っていたり、皆で楽しみました。

車イスで病棟から聞きに来ていた患者様や通所リハビリから来ていた利用者様は東風平さんの歌を聴き表情がだんだん笑顔になっていきました。

コンサートが終わった後も一人一人に声をかけ握手をしてくれた東風平高根さんや村岡喜美子さんの温かい人柄に触れることができました。翌日は特別養護老人ホーム「ライフケア大手門」にもボランティアへ行かれる予定のことでした。

なっていました。温かく力強い声が聞く人の心を元気にする不思議な力があるようです。村岡喜美子様は素敵なおドレスで曲に合わせて踊って皆を楽しませてくれました。

「命どう玉」くぬちどうたからとは沖縄の言葉で命こそ宝という意味。ひとりひとりの命はとても大切なものであることを話されました。



平成23年度 第13回へさくらフォーラム開催



梅雨の時期、雨に洗われたあじさいの色が鮮やかな季節のなかで、「さくらフォーラム」が平成23年6月27日(月)にタカクラホテル福岡で開催されました。

日頃から、病診連携でご協力を頂いています先生方や多職種の方にご参加頂き有難うございました。

今回のさくらフォーラムでは、特別講演として、九州大学大学院医学研究院病態機能内科学 教授の北園孝成先生により「脳梗塞の病態と治療」の御講演を頂きました。

次に、診療・病診連携の情報と医局の先生方・看護部の部門責任者の紹介がおこなわれました。

フォーラムの中では、なぜ、連携が必要なのか：医療を取り巻くキーワードとして、「疾病の構造の変化」「患者ニーズの多様化」「高齢化の進展」などがあげられます。

今後、実のある連携の実現には、各病院が自らの機能を明確にする事が欠かせないと思われまます。そして、医療資源や社会資源を有効活用すれば、出来る事が格段にひろがり思

者も疾病予防から治療まで切れ目のないサービスを受けることができるようになるでしょう。

だからこそ、連携は重要であり、今後より高まっていくということが再確認できたフォーラムでした。また、懇親会では、先生方と情報交換ができて楽しい時間を過ごす事が出来ました。

今後とも地域住民の方にさらに安心した医療・介護を提供できるように「顔の見える連携」に取り組んでいきたいと思えます。今回の開催に多くの御協力を頂きましてありがとうございます。



互いに成長できる組織を目指して 看護部教育委員会

平成22年4月、厚生労働省より新人看護職員の臨床研修等の努力義務化が通達され、看護部の教育体制の整備が求められました。この背景には、新人看護師の離職防止、看護師不足があります。当院においても、教育システムの見直しを行い、変化に対応できる体制を整えました。しかし、人を育てるのはシステムではなく人であり、看護部全体、ひいては組織全体です。新人(新入職者)を組織全体で迎え入れ、皆で育て、互いに成長できる組織風土を作り上げられるよう、教育委員が中心となり、新人(新入職者)研修を行っています。患者様に安心して医療を受けていただけるよう、新人のみならず、皆で成長していけるよう取り組んでおります。皆様からのご意見・ご指導は、私達看護師の成長の糧となっております。患者様に満足いくサービスが提供できるよう、看護師一同努力してまいりますので、今後ともご意見・ご指導の程、よろしくお願い致します。





高血圧症について

秋満 俊介 医師

高血圧症の方は全国で約3000万人以上と推定され、日本人の4人に1人、更に50歳以上

上では2人に1人がかかっているとされています。病名に症状の「症」がついていますが、実際には症状はほとんどなく、放置されがちな病気です。しかし後に述べるように様々な合併症を来しやすく、「本当は怖い病気」といえます。今日は外来、入院を問わず当院でも大変患者数が多いこの高血圧症についてお話ししたいと思います。

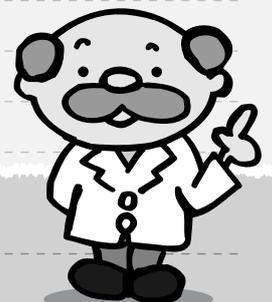
診断 医療機関で収縮期血圧(いわゆる上の血圧)が140または拡張期血圧(下の血圧)が90以上が続く場合や家庭内での血圧が135/85以上の場合高血圧症といえます。1回の測定ではなく、複数回(1度に何回も測るのではなく、日を変えて)の測定で判断します。

原因 原因がはっきりしていない本態性高血圧症が9割を占めています。遺伝や生活習慣、加齢などが複雑に関与して発症しているといわれています。ただし高齢者がみんな高血圧症ではありません。残りの1割が何らかの原因疾患があつて血圧が上昇している二次性高血圧症といわれるもので、これはその原因疾患を治療することで完治する可能性があります。

合併症 動脈硬化の原因となり、その結果、脳卒中、心臓病、腎臓病を合併しやすくなります。ときにそれらは致命的となることもあります。



治療 とりあえずは140/90以下を目標とします。治療は非薬物療法(生活習慣の修正)と薬物療法があり、できればまず生活習慣の修正から始めます。これは食事、特に塩分制限が重要で、日本人は昔から塩辛いものを好む習慣があり、塩分過剰の傾向(平均12g程度)があります。塩分が多いと明らかに血圧が上昇することがわかっており、治療としては1日当たり6g未満が推奨されています。梅干し1個でも2gの塩分が含まれており、実際にはなかなか難しいところです。嗜好品としては飲酒も血圧に関係しており、男性では1日ビール大瓶1本または日本酒1合程度、女性はその半分が目安です。また、肥満のある方は減量することも有効です。運動はさらに取り組みにくいものですが、通勤や買い物などを利用すると比較的始めやすいでしょう。まずは1日30分程度の徒歩を汗ばむくらいのスピードで週2~3回くらいがいいと思われます。もちろん心肺機能や足腰の状態によっては無理できないこともあります。喫煙、睡眠不足、ストレスなども関係するといわれています。薬物療法は降圧薬といわれる薬を飲むことになります。よく一度飲みだすと一生飲まなくてはいけないのですかと聞かれますが、先ほどの生活習慣の修正で血圧が下がり、中には薬を中止できることもあります。薬については専門の医師に任せてください。そして決して自分で薬の量を変えたり、やめたりしないでください。



最後に 高血圧症はきちんとコントロールすれば怖くありません。まずは血圧が高いといわれたら、病院に相談してみましよう。

外科・肛門外科・消化器内科・内視鏡内科・リハビリテーション科
原クリニック

●開放型病院登録医療機関ご紹介●



院長 原 裕介 先生

梅林地（開業当初は地下鉄梅林駅もまだ出来ていなく陸の孤島でした）で開業して早いもので13年目になります。原クリニックの原裕介と申します。

さくら病院の副院長江頭芳樹先生とは、高校・大学と同級で医局が内科・外科と違うだけで以前より親しくさせてもらっています。お兄さんの江頭啓介院長先生も大学時代から芳樹先生を紹介して知っていました。

江頭兄弟は、大学同期の中で一番先に開業されました。若い頃から医政にリーダーシップのある御二人をいろんな面で参考にさせてもらっています。

さくら病院（以前は江頭病院と言っていました）開業当初よ

〒814-0144
福岡市城南区梅林4丁目21-23
TEL 092-872-7007
FAX 092-872-7006
URL <http://www2.odn.ne.jp/haraclinic>

り（確か私が浜の町病院に勤務していた時と思います）、週半日ナーベンで、外科・肛門疾患・腹部疾患を中心に内科診療もさせてもらいました。開業後は、ターミナルケア、CTやMRI検査など御世話になって

います。私の所もベッドが2床ありますが、当直看護師さんが足りず、手術後の患者さんの2〜3日入院しかできないので急病の方の入院も最近では御願ひしています。

今回、クリニックのそばに介護施設をつくりましたので、この入居者の急変時には、また御世話になるかと思えます。よろしくお願ひします。



誕生月に検診を受けましょう！

さくらバースデー検診

後期高齢者健診 75歳以上 … 500円

よかドック 40~69歳 … 500円
70~74歳 … 無料

胃がん検診 40歳以上 … 1800円
大腸がん検診 40歳以上 … 500円
※70歳以上は無料

胃がん検診は、胃カメラ又は胃透視です。予約が必要となりますので、事前にご連絡下さい。

TEL : 092-864-1212 さくら病院 外来

HAPPY BIRTHDAY!

さくら病院の軒下で育った、今年生まれの5兄弟です。元気に飛び立つ日も近い。



七夕会

通所リハビリ



通所リハビリでは「七夕会」を6月27日から2週間行いました。利用者の皆さんに織姫・彦星様の人形作りや、短冊に願いごとを書いていただきました。なかなか言えない家族への感謝の気持ちを書かれる方も多く見受けられました。写真撮影には皆さん照れながらもとびつきの笑顔を出されていました。スタッフの願ひは、来年も再来年もずっと元気に皆さんが来られます様にとお願ひしました。



2内科

2内科では、7月4日、七夕会を催し、会場には患者様が短冊に願いをこめた七夕飾りが花を添えました。スタッフの踊り、ボランティアの方による三線や手品の出し物を見て涙される患者様もいて、和気あいあいと楽しんで頂きました。

さくら病院では「医療連携室」と「医療相談室」を2つの柱として相談窓口業務を行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

【病診・病病連携のご案内】

地域の病院・診療所と連携をとるために医療連携室を設けております。
患者様の病気や症状に応じ、「診療所と病院」、「病院と病院」、「病院・診療所と特定機能病院」が連携を密にし、患者様へ適切な治療を行えるよう、検査・入院体制を整備しています。

「医療連携室」「医療相談室」のご案内

「医療連携室」

患者様へ適切な医療の提供が行えるよう、地域の診療所や病院、在宅サービス事業所等との連携に努めています。

「医療相談室」

退院後の生活に対する不安、福祉や介護サービスについて、経済的な問題、入院相談等についての相談を承っています。お気軽にお声をおかけ下さい。

医療連携・相談室 TEL 092-864-1212 FAX 092-865-4570

担当者 医療連携室長 楠原 浩之 相談受付
室長 南里 幸嗣 平日 午前9:00～午後5:00
医療ソーシャルワーカー 小川 美和 土曜日 午前9:00～午後12:30
松本 梨佐



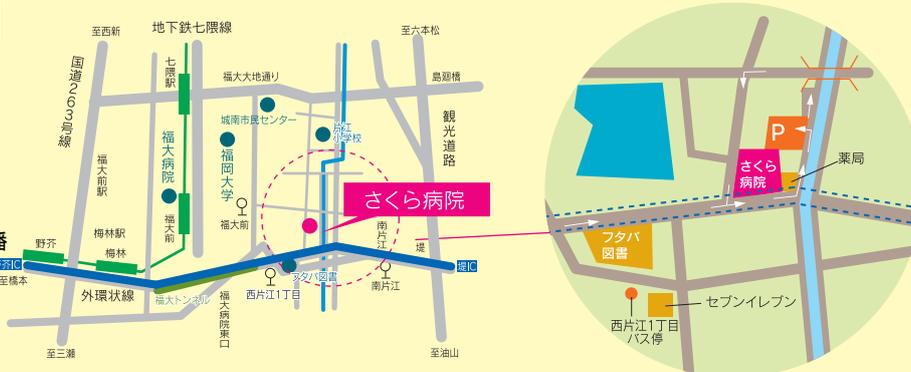
■さくら病院では、セカンドオピニオンのご相談にも応じています。まずは、お電話でお問合わせください。

外来診察表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)
	第3診察室	中馬 内科	村上 内科/心療内科	天野 内科/胃腸科	知念 内科/胃腸科	岸 内科/心療内科	井手 内科/糖尿病外科
	第5診察室			岩崎 リハビリ・整形外科			
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	
	第2診察室	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	石津 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/消化器科(肝臓)	秋満 内科/循環器	
	第3診察室	村上 内科/心療内科		佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	知念 内科/胃腸科	
	第5診察室			田中 内科/胃腸科			
専門外来(予約制)	午前				渡辺 呼吸器内科外来	岡崎 放射線科外来	
	午後	馬場 神経内科外来		石津 佐々木(靖) 血液・腫瘍外来 循環器外来	楠原 早田 肝臓外来 肝臓外来	安部 脳神経外科	

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)
- バス(西鉄バス西片江1丁目バス停下車)
西鉄バス系統番号
(天神方面より) 12,13,14,61,114,140番
(西新・飯倉方面より) 95番
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番
(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18,61,64,95番
- 車(病院裏手に専用駐車場があります)
天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら

社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会
特別養護老人ホーム ライフケアしかた

高齢者安心ハウス
あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15

TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/> (6月7日ホームページを更新いたしました)

直通TEL 1内科 092-872-5611
事務所 092-801-7386 2内科 092-872-5612
ユニット 092-872-5615 3内科 092-872-5613